

## 2004年3月期 中間連結決算の補足資料

2003.11.18  
5331 (株)川竹カパニミテ

### 1. 連結対象会社

連結対象 45社 増加：1社 (株)ノリタケTCF  
減少：2社 松阪ノリタケ(株)、南勢電子(株)  
持分法適用 1社 減少：1社 東セラエンジニアリング(株)

### 2. 為替 (円/US\$)

当中間期	119円			前中間期	129円
下期予想	110円	当期予想	115円	前 期	125円

### 3. 期別業績推移

(単位：億円)

	売上高	(前年同期比)	営業利益	経常利益	当期利益	(当期利益率)
H15.9中間	55,287	△0.5%	1,953	2,205	1,032	1.9%
H14.9中間	55,539	△9.6%	1,107	1,259	641	1.2%
H13.9中間	61,426	△1.2%	1,871	2,074	883	1.4%

### 4. 従業員数 (出向者は受入先に含む)

	本社	国内グループ会社	(内、TCF)	国内合計	国内増減	海外グループ会社
H15・9	217	4,503	(82)	4,720	67	約2000名
H15・3	352	4,301		4,653	-129	約2000名
H14・9	354	4,428		4,782	-280	約2000名
H14・3	884	4,178		5,062	-244	約2000名
H13・3	1,109	4,197		5,306	-313	約2000名

### 5. 設備投資

(単位：億円)

単位：億円	連結			単独		
	当中間期	通期予定	前期実績	当中間期	通期予定	前期実績
設備投資額	13	35	23	2	10	5
減価償却費	17	35	37	5	11	13

### 6. 経常利益 変動要因

連結経常利益	当中間期	22億円	前中間期比	9億円増
(減少要因)				
円高10円(当中間期119円/米\$)			△4億円	
市場価格低下			△2億円	
小計			△6億円	
(増加要因)				
原価低減			5億円	
販売管理費の削減(人件費2億円、諸経費4億円)			6億円	
本社厚生年金基金代行返上に伴う退職給付費用の減少			3億円	
その他営業外費用の減少等			1億円	
小計			15億円	

### 7. 特別損益

(特別損失)				
固定資産処分損		2億円		
棚卸資産処分損等		2.5億円	損失 計	4.5億円
(特別利益)				
固定資産売却益		2億円		
投資有価証券売却益等		4.5億円	利益 計	6.5億円

8. 当中間期における主な変革

年月日	内 容
15・4・1	電子事業本部の本社販売部門を分離し、ノリタケ伊勢電子(株)に移管。
15・4・1	(株)ノリタケセラミックスは、松阪ノリタケ(株)を吸収合併。
15・4・1	(株)ノリタケマシンエンジニアリングは、社名を(株)ノリタケエンジニアリングに変更。環境エンジニアリング事業本部の本社販売・技術部門を分離し、(株)ノリタケエンジニアリングに移管。
15・4・1	東セラエンジニアリング(株)と東芝セラミックスファーンネス(株)が合併。存続会社は、東芝セラミックスファーンネス(株)。(持分は45%から17%)
15・6・30	東芝セラミックス(株)より東芝セラミックスファーンネス(株)の株式を追加取得し(持分は17%から51%)、社名を(株)ノリタケTCFと変更。持分法適用から連結対象に異動。
15・9・15	南勢電子(株)を清算。

9. セグメント別売上高の概況 (単位：億円)

	当中間期			当期年間予想		
	売上高	構成比%	前年同期比%	売上高	構成比	前年同期比%
工業機材	196	35	2.6	400	36	2.0
食器	115	21	△7.7	230	21	△8.0
電子	51	9	△6.6	100	9	△9.1
セラミック・マテリアル	121	22	△4.1	240	21	△1.6
環境エンジニアリング	70	13	18.1	150	13	32.7
計	553	100	△0.5	1,120	100	1.0

10. セグメント別営業利益 (単位：億円)

	当中間期		前中間期		当期年間予想	
	営業利益	利益率%	営業利益	利益率%	営業利益	利益率%
工業機材	14.4	7.3	10.2	5.3	30	7.5
食器	△0.2	△0.1	△0.9	△0.7	△2	△0.8
電子	1.1	5.9	△0.1	△0.1	5	5.0
セラミック・マテリアル	7.0	5.8	4.9	3.9	14	5.8
環境エンジニアリング	△2.8	△6.7	△3.0	△5.0	△7	△4.7
計	19.5	3.5	11.1	2.0	40	3.5

注：配賦不能費用は、売上高比例で各セグメントに配賦してある。  
 厚膜基板事業を電子からセラミック・マテリアルへ移管した影響額  
 当中間期売上高 16億円 当中間期営業利益 2億円  
 耐火物事業をセラミック・マテリアルから環境エンジニアリングへ移管した影響額  
 当中間期売上高 2億円 当中間期営業利益 0億円

以 上